

NECの歩み

NECは、1899年の創業以来、「ベタープロダクツ・ベターサービス」をモットーとして、より良い製品・サービスを追求し、お客さまに提供してきました。これまでに、FAXの基礎となる写真電送装置や国際テレビ中継を支えた衛星通信地球局をはじめ、さまざまなイノベーションに挑戦し、社会価値を創造しています。一方、現在では、社会やお客さまが求めるものは多様性を増しています。当社が社会やお客さまに価値を提供するためには、保有するさまざまなアセットを組み合わせ、工夫を凝らし、どの領域でどのような価値を提供していくか、組織の枠を超えて考え続けなければなりません。

しかし、「お客さまや社会に、より良い価値を提供したい」という私たちの思いは時代を超えて普遍的なものです。NECはブランドメッセージ「Orchestrating a brighter world」のもと、さまざまなステークホルダーとの対話と共創を活かし、これからも価値創造に取り組んでいきます。



2002年

世界最高速のスーパーコンピュータ、超高速ベクトル並列計算機「地球シミュレータ」を完成

2003年

世界最大規模のミッションクリティカルシステム、iモードゲートウェイシステム「CiRCUS」構築

2007年

超小型マイクロ波通信システム「パソリンク」が世界シェア1位を達成

2010年

小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

2012年

東京スカイツリーへ放送装置を納入

2014年

ブランドメッセージ「Orchestrating a brighter world」を策定

Orchestrating a brighter world

III
ビジネスモデル

1899年

日本電気株式会社設立



1928年

NE式写真電送装置（国産第1号）を完成、昭和天皇即位の大典で写真電送に成功



1954年

コンピュータの研究開発に着手



1956年

局用クロスバ自動交換機国産第1号を完成、栃木県三和局に納入



1958年

国産初のトランジスタ式電子計算機「NEAC-2201」を完成



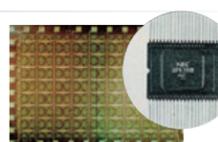
1964年

東京オリンピックの実況テレビ国際衛星中継で、NECの衛星通信機器が活躍



1968年

144ビットnチャンネルMOS（Metal Oxide Semiconductor）メモリの開発に成功



1970年

日本発の人工衛星「おおすみ」を東京大学宇宙航空研究所に納入

1971年

全自動郵便処理システム「NS-100」を開発



1974年

新コンピュータシリーズ「ACOSシリーズ77」を発売

1977年

インテルコム77（米国アトランタ）でC&Cを提唱



1979年

パーソナルコンピュータ「PC-8001」を発売

1985年

スーパーコンピュータ「SX-2」が世界最高速（1.3G FLOPS）実測に成功



1991年

カーボンナノチューブを発見、その新物性を予測

